



鹿児島高等学校
関西地区
同窓会新聞

第21号

令和2年4月1日発行
発行人 飯田 一憲
編集者 新聞編集部

第二十五回目になる同窓会開催
思い出を呼び起こす
同窓会

鹿児島高等学校関西地区同窓会 会長

昭和三十五年卒 飯田 一憲



今年、思いを込めて設立された関西地区同窓会は第二十五回目を迎えます。振り返りますと、第一回目を難波の「鳥よし」で開催して一〇五名の参加者であつたと記録されております。

和室の畳の上のテーブルに向かい合い話した事、二十五年前とは言え昨日の出来事のように思えてなりません。資料を見ても六月の開催になっております。その翌年から十回まで秋に開催されるようになりました。その後、秋はいろいろな行事が有つて同窓会日程と重なるとの意見もありました。その様な意見を入れて、四月の開催に定着していきました。今振り返ってみても、先生方の行動の制約はありましようけど、この四月の開催は当を得ているように思われます。

関西同窓会の設立について伝え聞いたことを書いてみます。関西での高校のスポーツと言え

ば春夏の甲子園野球です。全国津々浦々まで国民の心を熱くする一大イベントで、二十五年以上前は今よりもっと純粹に燃えていた時代と思われまます。そう言う頃、関西在住の卒業生に同窓会設立の要請が当時の海江田先生からもたらされました。まず強調されたことは「鹿高が甲子園に出場した時の応援体制を作っておきたい」と言う事でした。おそらく昭和の三十八年と四十二年の二回甲子園出場した折、同窓会の必要性を強く感じられて、校長退任の時期に合わせて同窓会設立に動かれたものと思われまます。それは同窓会

を同じ鹿児島高校卒業生のつながり・コミニケーション作りを提案なさったのでしよう。同窓会に足を運べば、鹿児島高校の卒業生・鹿児島街・雄大な桜島の状況と話題には事欠かないわけです。大都会に育った方達には出来ない、故郷を離れているから集まる事のできる話題があるようなものです。先輩の面影をしたい級友に思いを馳せ、元気でおられるのだろうか顔の見えない友達を想い浮かべる光景のすばらしさ。きつとお互いの心は通じて行くものと思ひまます。

第二十五回目の同窓会迎えるに当たり、思いを綴つてみました。語らいの場としての同窓会に一人でも多くの方のご参加を願つてやみません。

桜島は今

空港を出て高速道路を走ると山影からパット見える桜島。親・子・孫三代揃つての初めての墓参の帰郷。子・孫たちがウア〜大きいすごいなど歓声を上げた。この辺りから見る桜島はスマートな青年の山に見えるけど、もつと市内の中心から見える「でんと座つた桜島」の姿を見たら、この子らはどう感じるのだろうか。

フェリーの向かう桜島の山肌は、陽日に照らされ光り輝いていた。十五分ほどで桜島港に着いた。以前は袴腰と言つていたように思えたが、桜島港と案内していた。懐かしい名前には消えたのだろうか。観光案内書に「噴火の歴史や原因などを解説・展示するミニ博物館」の事を知り見学した。桜島に関する広い範囲のスケールの大きな展示に圧倒されて、子供たちは食い入るように見入つていた。

早朝の墓参を皆で済ませ、ドルフィンポイントから正面から見るとあぐらをかけたような雄大な姿の桜島は「帰つて来たんかい」、「うん墓参りにネ」……と。そのように優しく問いかけているようである。

一〇〇年経つた今、大正の大噴火で流れ出た溶岩の固まりの上には、ススキが生え、松の木々が背を伸ばして、昔の溶岩だけの桜島の山肌は緑に覆われた大地の様になっている。噴

空は晴れ渡り、潮風に打たれながら

空は晴れ渡り、潮風に打たれながら



昭和三十三年卒 末廣良子



地上絵のクモ
宙人・犬等の地上絵が、大平原の中から実際に目の前に現れ、想像を超えた大きさに大感激でした。三日目には、ペルー南東に位置するクスコでインカ帝国時代の遺跡見学し

世界遺産が数多くある南米ペルーの、謎多い天空の都市マチュピチュ遺跡・地上絵・インカ文明を見てきました。日本ではまだ暑さの残る九月、八日間の日程で関空を出発。ロスを經由し、ペルー首都リマまで三十六時間掛かって到着した。



ペルーの首都リマに到着

一生に一度は行ってみたい！
天空の遺跡

【マチュピチュ】へ

昭和42年卒 田中増雄

一日目は、ペルーの首都リマの歴史地区の世界遺産へ。二日目、ナスカの地上絵上空を一時間半、セスナ機で遊覧飛行をした。テレビ・雑誌などで見たハチドリ・クモ・宇宙人・犬等の地上絵が、大平原の中から実際に目の前に現れ、想像を超えた大きさに大感激でした。三日目には、ペルー南東に位置するクスコでインカ帝国時代の遺跡見学し

た後、翌日のマチュピチュ遺跡に向けてバス・鉄道を乗り継いで五時間の移動です。バスでは三七〇〇mの大平原を走行し、車窓からは、雪を被ったアンデスの山々が見え圧巻の景色だった。展望列車では、天井に窓が有り、移動中も景色を楽しみながら、マチュピチュ遺跡へと胸が高鳴って行った。



ワイナピチュ山と筆者

そして四日目。朝、ホテルを出発して、急勾配でジグザグ道をバスで走行すること三十分。この旅最大の目的マチュピチュ遺跡に到着。注意事項を聞いて、いよいよ遺跡の中へ。標高二四〇〇mの山道を三十分登りきると、侵入者を監視する為の見張り小屋にたどり着いた。ここからは麓では決して見えないマチュピチュ遺跡の全景が目の前に広がり、驚きと感動が押し寄せた。後方にワイナピチュ山、切り立った断崖絶壁に石組みで作られた神秘的な古代都市を時間を忘れ、いつまでも見ていたいという思いに駆られた。

Welcome
ウェルカム

宴会・宿泊斡旋

.....

〈主要取引〉

- 大阪キャッスルホテル / 中国料理 **錦城閣**
- 中国料理 **大成閣**
- ホテル **アウィーナ大阪**

宮原 眞一

(南さつま市笠沙町出身)

TEL・FAX 06-6567-7147
E-mail miyahara@feel.ocn.ne.jp

ご用命は...
携帯 090-8984-4098

最後に、ずっと憧れていたマチュピチュ遺跡を実際に目のあたりにして、「迷っていたけど行って良かった」と心から思った。行って見たいけど、悩んでいる人は是非挑戦して見て下さい。現地へ行かないとこの感動を味わう事はできません。

ユピチュ遺跡を見学し、大満足の一日だった。

五日目。マチュピチュ駅を出てから関空へ感激を抱いて三十八時間の帰路についた。



マチュピチュ遺跡全景

いきいきとのびやかに 学校生活を謳歌する 後輩たち

鹿児島高等学校 校長

徳丸喜代志



同窓生のみなさん、各地で
ご健勝のことと存じます。こ
の紙面をお借りして今の鹿高
の様子と生徒たちの現況をお
伝えします。

今春、五八四人の新入生(県下最多)を迎え、全
校生徒一五八九人(県内最多)で令和元年度をスタ
ートしました。この新入生たちは、前年にも増して
元気があつてレベルも高い生徒が多く、学校はまだ、
一段と活気に満ちた雰囲気です。

今年の計画工事で学校の
周りのブロック塀が低く削
られ、黒塗りの外柵が立て
られました。外から一周回
ってみると今までは少し
趣が違う外観に変わってい
ます。校門を入ったところ
に設置してある学園創立者
の津曲貞助先生の銅像も美
術の教員の手作業でさびを
落とし塗り替えられました。
入口周辺に植えられている
樹木も、早咲きの山桜をは
じめよく成長していて、校



左が体育館その前に亡師亡友の碑が建つ

内入口での緑の景観を楽しませます。校門からの
景色は昔の面影が残るところだと思えますのでし
っかり手入れして守っていきたくと思っています。
さて、今年の部活動の活躍でございしますが、昨年
以上に地元の新聞等を賑わし、ソフトテニス、フエ
ンシング、陸上、水泳がインターハイ(今年は南九
州開催)に出場し活躍してくれました。期待の野
球部、サッカー部、バスケット部は、もう一步のと
ころで全国への出場を逃してありますが、近いう
ちに鹿高の旗を全国に掲げてくれる期待は持たせ
てくれました。文化系も音楽部が二年連続全国大
会出場を果たし、和太鼓部も全国への切符を手
入れ、演劇部も優秀賞、吹奏楽部は五年連続県大会
金賞といういろいろな部門で鹿高の名前を高めてく
れました。毎年十一月に全部の部活動の顧問の慰労
激励会を開いておりまして、次年度への力強い抱
負を各顧問が披露して氣勢を上げます。やる気
のある顧問たちが次のさらに上位を目指して生徒を
鍛えていきます。また来年も楽しみにしてい

ださい。
また、今年も就職はお陰様で順調に
内定をもらい、一〇〇%は間違いのな
いところですが、地元志向が強い気が
します。進学の間は、推薦入試などを
皮切りにセンター試験まで続いていき
ますが最後のセンター試験は約二〇〇
名が受験します。今春の実績を上回ろ
うとする雰囲気がありますので、期待
して最後の追い込み指導を行っている
ところです。系列の鹿児島国際大学へ
も約八〇人が進学予定で、関西、関東の
公立私立の大学にも合わせて一〇〇人
近くが進学します。ひと口に文武両道

絵と格言で綴る人生の応援メッセージ

人生カレンダー

暮らしの必需品

販売 人生カレンダー社

近畿鹿児島県人会連合会 副会長
近畿薩摩川内会 顧問
西郷輝彦西輝会 幹事長

人生カレンダー社 代表 森 徳 良
携帯 : 090-2102-4938 (薩摩川内市出身)

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1丁目10-9キタノ別館1F
TEL : 06-6974-7641 FAX : 06-6974-7643
Eメール : nmori@kntp.co.jp

と言いますが、今の鹿高の生徒たちはこの限られ
た三年間を本当に懸命に頑張っています。
鹿高に入学してくる生徒のマインドが確実に変
化し、鹿高で勉強したい、部活動などもしたいとい
う専願の高校選択の生徒が主流を占めてきていま
す。語弊があるかもしれませんが、今や鹿高に入り
たいが入れない中学生が多く出ている現状にもな
っています。
我々教職員は鹿高に学ぶ生徒のために「働き方
改革」を言われながらも、今後とも丁寧な情熱をも
って頑張っていくことをみなさまにお誓いして教
育を行って参ります。先輩方を見て鹿高の教育の
力を改めて感じ、期待に応える仕事をしなければ
と身を引き締めています。引き続き母校へのご支
援ご声援をいただきたく思います。
(令和元年十二月初発)

鹿高一期十会 木曾路一泊旅行記

昭和三十六年卒

D組

佐野 亨



令和元年五月二十一日昨年に続き私にとっては二回目の同窓会旅行参加である。木曾路：聞くだけで懐かしさを覚えるその旅に小型バスで大阪を出発。高速道をおりた時からの道中季節も重なり「木曾路は全て山の中」、のとおり深い山々が眼前に迫り、深緑のシャワーを浴びせられ、むせるような樹々の香りに包まれながら馬籠宿に着いたのは午後三時半頃で陽は高い石垣の細い道と両側の家構え古ぼけた看板を目にした瞬間に遠い日に帰り江戸時代のだ真ん中に着いたような錯覚。歩を進めると「杣形」の坂道に出合う。まぎれもない江戸時代の武士の世界の道であった。二十一日は妻籠宿である。全国で初めて古い街並みを保存したというこの宿場町は、昔のまゝの伝統的な家並みや看板や道等を今に残しその懐かしさに私の心は酔いしびれ勝手に江戸時代にさかのぼってゆく。大名行列・かごに乗った皇女和宮・飛脚・商人：今以上に皆必死で生きた幾多の人々の思いを乗せ、今にないできたであろう古道の石は丸みをおびて輝いていた。

有形文化財の「杵原学校」では、授業やオルガンでの「ふるさと」等を合唱して令和元年五月

二十二日付の卒業証書を頂き、旅のフィナーレを迎えた。

旅の楽しみは宿での思い出も欠かせない。二十一日のホテル木曾路での宴会にもふれておきたい。鹿高らしく上品で静かに食事を楽しみ、酒もたしなむ程度に飲みかわしていたが、時間の経過と共に徐々に大宴会へと移ってゆくゲームも終わり自慢のカラオケに、おどろけへと移る頃、もうブレーキはきかない。ひよつとこお面の踊りまで現れ、皆で踊り笑いころげて、楽しいこと以外は何も無いような大宴会で終わった事をお知らせしておきます。32会、35会を中心とした先輩方のおかげで大成功の旅であった。さらに高齢になりつつある今、次回は勇気ある六十代のピチピチ？の人の参加も欲しい。五十名の参加があればトイレ付の大型バスで遠くまで楽に行ける旅も出来るかもしれない。置忘れの無い楽しい人生を追い続ける為にも、より多くの同窓生の参加を期待し待つとしよう。



↑ 南木曾宿にある「脇本陣奥谷（わきほんじん おくや）。徳川家茂に嫁ぐ皇女和宮や明治天皇も休息したと言われる。檜をふんだんに使った建造物で現在は博物館施設として解放されている。



湯・味・ここに 歴史をそえて
皆さまのお帰り心よりお待ちしております

砂むし温泉

指宿 白水館

〒541-0052 大阪市中央区安土町 2-5-11

大阪かぎんビル1階

TEL 06-6227-8123 FAX 06-6227-8122

大阪営業所 所長 西野智宏

同窓会関係

関西同窓会

二十四回目になります関西同窓会は今度も天気恵まれて津曲理事長様を始め学校長、本部同窓会、関東同窓会の会長様の参加を頂きました。また、近年運動、文化クラブの活躍著しくその状況説明も有って、今村PTA会長とスタッフの方々もお見えになりました。

会場を和ませる余興はチンドン屋さんに来てもらい、昔懐かしい「ちんちんドンドンちんちんドンドン」音を聞いて、後をついて行きたい衝動にかられました。「東西東西」ここにお集まりの鹿児島高校の皆様、本日は「」の親方の凛とした口上は日常を離れてはいるが何か体の芯に記憶されているように身が一瞬ピリッとしたような気がした。

参加は、今年卒業されたばかりの初々しいお二方を含めて五十五名でした。学校からも同窓会の意義を絶やさないうために参加促進の努力頂いております。今年も二名の方をお誘い頂きました。

今年のお土産は大阪の大黒屋の栗おこしをはじめ、鹿児島島の焼酎各社に財宝の深海水等々、多岐に渡る商品を抽選で持ち帰り頂きました。



校歌斉唱

受付風景

上野です。宜しく。



西村先生 右は徳丸校長



関東副会長乾杯



津曲理事長挨拶



盛会の締め前会長



思い出になりますよ



ようこそ徳田先生



関西に来たばかりの大学生



私たちが高校3年生



思い出します



関東同窓会 竹添みどりさん

五月開催の渋谷おはら祭に連を組み踊っている、「私(あたかも)鹿児島高校よ」と声かける若い人達の取り込みで、同窓会が賑やかになっているようです。この様な人達の参加で新旧の入れ替えが起こっていると感じました。バイオリン演奏で上村先生とハーモニカ共演のある関東同窓会、ハイレベルに感じます。参加者は六十五名でした。

遠い北海道の地に、津曲理事長・徳丸学校長・西村正一郎本部同窓会副会長に足をお運び頂いて賑やかな同窓会と成りました。来賓以外の参加者は6名でした。理事長から学園誕生の秘話など初めて聞かれた方もおられ、とても楽しい時間であったようです。北海道は広い土地なので同窓会に集まるのは大変と思いますが、知り合いの方おられましたら同窓会の開催の事教えてあげてください。



北海道同窓会 ご馳走いっぱい

関東同窓会



私たちが高校3年生



高校3年生になります



私は高校3年生

北海道同窓会



大阪チンドン屋さん

お食事処

和了

山中 美和子
(鹿児島高等学校 昭和57年卒)
鹿児島市西田2丁目11-2
TEL : 099-257-5081

〈歌好き大歓迎〉新曲がどっさりで速い

ノーキーブ制・飲み放題
男性 2,500円 女性 2,000円

カラオケ スナック **ぶ 萄 園**

歌手 キングレコード(株)所属 (社)日本歌手協会 会員 **葡萄酒 至助**

新曲 ♪「浮草ふたりづれ」
(デュエット曲:夏本綾子氏)

文化通り 三木屋ビル 焼肉のま 山之口本通り 天文館アケト 貝汁山椒 ココ 葡萄酒 (公園ビル2F) 派地出蔵所角

〒892-0843 鹿児島市千日町9-5 (公園ビル2F)
TEL (099) 225-3925

平成二十年 新校舎誕生!

鹿児島高等学校 前校長
上村 国博



校舎の建て替えには多くの必要性がありました。

1. すでに樟南高校・鹿児島実業高校は校舎を建替えた。
2. 城西通りの交通量が増え騒音がひどい。
3. 教室・講義室・実験室・職員室などの設備が古い。
4. すでに大学・中学校・幼稚園では設備の整備が終了。今度は本校の番だ。等々

しかし、もっと切実な理由がありました。それは校舎が老朽化していたことです。

すでに西校舎は四十八年、南校舎は四十五年、北校舎は四十年を経っていました。セメントがはがれて落下し危ない、西校舎と北校舎の間には亀裂がある、南校舎は傾いていました。雨漏り、ひび割れ、床・壁の破裂、水道水の汚濁など、メンテナンスに追われていました。西校舎だけでも一二〇〇人余の生徒が授業を受けていましたので、仮に西校舎が地震で倒壊し、一割の生徒が死亡したりけがをすれば、その保障に莫大な費用が必要になり、また社会的な責任も問われ、それは学園の存続にも関わってくる問題でした。

校舎建て替えの要望は、平成十三年にさかのぼります。校内に委員会が設置され、学園本部との



↑ 工事が始まったばかりの写真です。写真の情報は2007年(平成19年)6月16日になっています。土を盛った所は地鎮祭の後でしょうか。正面の4階の校舎は西の方にあった校舎です。この校舎の右方向につながっている校舎は、校門の方に伸びています。6階建て新校舎完成の後、共に取り壊されました。

勉強会が開催され、高校の要望、教室配置、学校規模の予想と校舎の適正規模、募集定員、本校に関する経理状況、改築の手順などが検討されました。十五年五月三十日、理事・評議員会で、角園校長が正式に校舎改築の要請をされました。校舎の建て替えは、三年後の十八年十月三十日の理事会で正式に決定しました。当時の理事長は菱山泉氏、事務局長は永田治男氏でした。

十三年五月、角園校長(学園理事)が就任し、私は教頭(学園評議員)として校舎建て替えに奔走しましたが、正式決定までに実に六年を要したことになります。

十九年四月、私が校長職に就き、六月に工事開始、二十年の七月に新校舎が誕生しました。九月から新校舎での授業が始まり、旧校舎の取り壊しの後、全面人工芝のグラウンドが、二十一年三月に完成しました。

本来、教職員は教育に専念し、校舎の建て替えなどは学園本部が長期的学園経営の観点からすすめるべきことであると私は考えますが、本学園では高校の五年余の強い要望により達成できたのです。



ホテルユニオン

JALとANAの宿泊パックでも
ホテルユニオンをご利用いただけます

52年普通科卒業 淵村 文一郎

ホテルユニオン

〒 890-0046 鹿児島市西田 2-12-34 FAX 099-256-9729

099-253-5800
<http://www.union-h.co.jp>

我人生に

懺悔を込めて

昭和四十六年卒
3組 南 昭



私が、徳之島を離れ鹿児島高校に入学したのは昭和四十三年です。最初は下宿生活でしたが、田舎で暮らす母親に送った一通の電報で事態が一変しました。当時の私は下宿で出される食事だけでは物足りず買い食いをしていましたが、常に小遣は足りませんでした。そこで母の日が近いある日に「母の日おめでとう、金送れ」と云う電報を送ったのです。これを見た両親は呆れてびっくりし、間もなく母親がすつ飛んで来ました。この後母親と一緒に卒業まで暮らしていたのが、確か郡元と云う町ではなかったかと思えます。母親は機織りの仕事をやり始め、私は下準備の糸通しなどを手伝ったのを覚えております。ですから当時の私は、紬の生地の日利きは、かなり自信がありました。

このように一応順調に高校生活を過ごし、卒業後は、福岡にある私立大学で寮生活をするようになりました。ところが福岡での学生生活は、田舎育ちで、天文館の賑わいも外目で見ていた私にとって、あまりにも目新しく刺激極まりない環境でした。コンパに始まり多種多様な遊戯、小遣いが足りなくなるとアルバイトで稼いで、また浪費するという生活でした。当時を振り返

えると、学業ではなく社会勉強にのめり込むようになったのです。しかしこのような生活が長続きする訳がなく、二回生の学年末には大きな選択を迫られ、これ以上両親に迷惑を掛ける訳にいかないという悟り、大学を中途退学して大阪に出て職に就きました。

この後は当時の社会勉強が少しは役立つたのか無事に定年を迎える事が出来ました。

しかし私は、今でも悔やんでいることが一つあります。実は学校から推薦をもらって大学に入学してしまいました。その大学を中途退学したために「後輩たちのその後の入学に影響を与えていないのか」と何かにつけ思い出し悔やんでいることです。この書面をお借りして深くお詫び申し上げますとともに、母校がつつがなく発展していくのを願っている今日この頃です。



↑ 旧交を温めたい懐かしい仲間との1枚の記念写真です。
只、いつか再会したら「こんな大事な一瞬に話しかけんといて」と言いたい、右端から二人目の筆者より



本場大島紬の里

奄美の里

伝統工芸「大島紬」の製造工程や
奄美の生活様式など ご覧いただけます

Tel 099-268-0331

〒891-0122 鹿児島市南栄 1-8
<http://www.amaminosato.jp/>

県人会や 高校同窓会連合会の行事

関西で開催されている鹿児島関係の行事で楽しいと思うのがいくつかある。一番は焼酎まつりだろう。ここ数年は十一月二十三日に尼崎で開催され、四〇〇名程の参加で会場一杯である。鹿児島には二二三の蔵元が有って、二〇〇種類を超える銘柄がある。昔の一瓶のイメージを覆いかぶす綺麗な瓶デザイン、食前酒やワイン風味の焼酎など、二〇〇種類が出展されて飲み比べの楽しさで大賑わいである。鹿高からは毎年二〇名以上の参加が有って好評である。

今までに薩摩と繋がりのある神社仏閣の参拝で京都や高野山に行った。薩摩・鹿児島の偉大な先覚者が残してくれた素晴らしい史跡が至る所にあるので参観して見る。また、直近には見聞を広めるために大阪刑務所の参観も行った。そのような行事に合わせ、飲みにケーションが開催されて懇親も深めている。《メール登録しておく、鹿高関西同窓会活動につながる情報の案内が届きます》



焼酎まつりの様子。郷土の焼酎がずらり！

第16回『関西かごしまファンデー』

(主催 関西鹿児島県人会総連合会)

4月5日(日)第16回『関西かごしまファンデー』が開催されます。

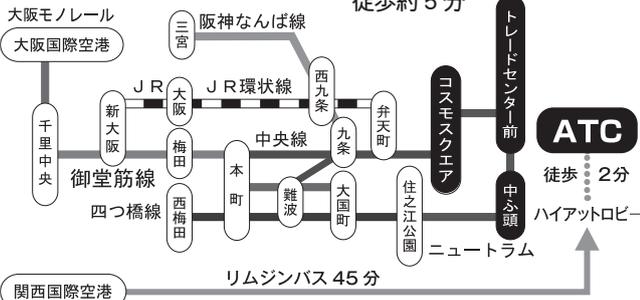
日時 2020年4月5日(日) 9時開場~17時
 場所 大阪南港ATCホール
 入場券 前売り1,000円(当日1,500円) 小学生以下無料
 イベント 焼酎試飲コーナー・芸能ステージ・鹿児島物産展・ふるさと展



※ゲストは午前と午後の2回出演します。
 ※ステージの指定席は有料です。

今年の会場は大阪南港ATCホール！

最寄駅：トレードセンター前駅
 徒歩約5分



お問い合わせ

鹿児島高校関西地区同窓会事務局 飯田一憲
 電話・FAX: 0797-81-6527 携帯: 090-3994-7570
 Eメール: kawamono_iida@kagoshima.zaq.jp

我が同窓会も、当日受付業務を手伝います。
 ご家族近所の皆さん知人友人の方お誘いの上ご来場下さい。

鹿児島高等学校 関西地区同窓会 絆

岩崎通信工業株式会社

代表取締役

岩崎 春行

昭和41年卒

硬式野球部出身 宝塚在住

ご寄付を頂いた方の報告

平成31年1月～令和元年12月までの1年間に、運営資金として寄付頂いた額は254,554円でした。昨年に引き続き、各種会合の釣りなどを会に頂いており思いがけない金額になっております。有難うございました。同窓会活動や県人会活動などの経費に有効に使わせていただきます。同窓会の運営の永続の為に引き続き皆様方のご協力をお願い致します。

実は昨年発行20号新聞に、寄付頂いた方のお名前の掲載を漏らしていた方がおられました。集計の金額(325,685円)に漏れはございません。20年卒業の方から34年卒業の方の多くを、卒年順に並び替えの際漏らしたと思えます。お詫びして改めて掲載いたします。
《順不同 敬称略》

平成30年にご寄付を頂いた方

- | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|
| 昭和20年卒
小牧 壽夫 | 昭和33年卒
濱田 勝盛(A)
若松 東洋男(B)
武東 春子(C)
末廣 良子(D)
徳留 義弘(F)
里 教子(F)
比嘉サチ子(F)
納瀬 照子(F)
大平 俊(G)
黒岩 俊六(H) | 昭和35年卒
木場 恵子(A)
宮里 尚治(A)
川上 久子(B)
須崎 孝雄(B)
満尾 貞昭(B)
平中 昌子(C)
三浦 洋子(C)
宮崎 幸子(C)
飯田 一憲(D)
田中賀代子(E)
有園美智子(F)
前田ミトエ(F)
原 京子(G)
藤田千恵子(G)
村上 明稔(G)
有村 博己(H) | 昭和36年卒
佐野 亨(D)
昭和38年卒
水間 亮子(A)
松下 香代(A)
伊藤 和子(E)
昭和39年卒
田代 忠雄(A)
昭和40年卒
菊水 和範(A)
中台美代子(H)
岩川シゲミ(H)
増野 明美(F)
森島 廣子(M)
昭和41年卒
岩崎 春行(C)
東郷ミエ子(R) | 昭和42年卒
田中 増雄(C)
昭和44年卒
濱田あけみ(A)
井高 逸美(C)
境 雅子(R)
昭和45年卒
日高 秀昭(G)
昭和47年卒
今出 恵子(商11)
昭和48年卒
村尾 光廣(商2)
田淵 律子(普3)
堀田真理子(普5)
園原 信行(普6)
平岡 涼美(商9) | 昭和49年卒
小寺 隆(普9)
昭和59年卒
川迫 剛(商2)

前校長
上村 國博

関東同窓会
川上 豊二(38A)

各種グループから |
| 昭和30年卒
高橋由紀子(A)
今田 正稔(C)
塩釜 喜彦(C)
窪田 倫子(D)
田中 幸子(D)
松下 兼一(F)
昭和32年卒
丸田 和子(C)
水島 清子(C)
宮園 政俊(F)
網屋 博利(F)
松田 定徳(F)
中道 薫(H)
伊荻 州一(H) | 昭和34年卒
藤田 幸(A)
横路 肇和(D)
紀 美恵子(E)
西田誠太郎(H) | | | | |

平成31年・令和元年にご寄付を頂いた方

- | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| 昭和30年卒
高橋由紀子(A)
今田 正稔(C)
塩釜 喜彦(C)
松下 兼一(C)
昭和31年卒
樺山健一郎(F) | 昭和32年卒
中道 薫(H)
上田 清照(A)
宮園 政俊(F)
網屋 博利(F)
松田 定徳(F)
伊荻 州一(H) | 昭和33年卒
濱田 勝盛(A)
若松 東洋男(B)
栽原 吉政(C)
末廣 良子(D)
徳留 義弘(F)
里 教子(F) | 中村 一也(E)
納瀬 照子(F)
比嘉サチ子(F)
大平 俊(G)
黒岩 俊六(H)
昭和34年卒
紀 美恵子(E)
横路 肇和(D)
佐方タトネ(B)
昭和35年卒
宮里 尚治(A)
木場 恵子(A)
須崎 孝雄(B)
川上 久子(B)
平中 昌子(C)
宮崎 幸子(C)
飯田 一憲(D)
田中賀代子(E)
有園美智子(F)
原 京子(G)
小島リツ子(G)
畠中 四郎(H)
有村 博己(H)
昭和36年卒
佐野 亨(D)
昭和37年卒
名倉 喜久(A) | 昭和38年卒
伊藤 和子(E)
昭和40年卒
菊水 和範(A)
増野 厚美(F)
中台美代子(H)
岩川シゲミ(H)
昭和41年卒
岩崎 春行(C)
今久保政昭(D)
昭和42年卒
田中 増雄(C)
槌田 悦子(H)
田中 雅博(H)
米永 実昭(L)
昭和43年卒
竹之内一枝(K)
昭和44年卒
濱田あけみ(A)
井高 逸美(C)
中山 和子(L)
境 雅子(R)
昭和45年卒
日高 秀昭(G)
昭和46年卒
南 昭(普3)
新井美枝子(商6) | 昭和47年卒
今出 恵子(商11)
昭和48年卒
園原 信行(普6)
碓山とも子(商1)
村尾 光廣(商2)
田淵 律子(普3)
岩崎 和典(普8)
昭和49年卒
中 吉雄(普2)
小寺 隆(普9)
昭和50年卒
豊村 伸一(普8)
昭和59年卒
川迫 剛(商2)

先生方
西村正一郎先生
津曲 貞利先生
上村 國博先生
徳田 哲男先生

各種グループから |
|--|--|---|---|---|---|

株式会社 からく



鹿児島県産品の販売ならお任せ下さい!
各地域や、同窓会などの催しの際に
「故郷の味」を出張販売致します!

◆お問合せ: 080-3810-3751 担当: 慶
大阪府中央区徳井町1-2-14



令和2年鹿児島関連イベント情報 ☆行事の日程については、各自確認してご参加ください。

4月5日(日)	曲水の宴	鹿児島市仙巖園(仙巖園 099-247-1551)
4月5日(日)	関西かごしまファンデー	A T Cホール 10時～
4月25日(土)	薩摩義士顕彰春季祭	岐阜県海津市(治水神社 0584-54-5928)
5月2日(土)～24日(日)	吹上浜砂の祭典	南さつま市加世田(南さつま市役所 0993-53-2111)
5月17日(日)	渋谷・鹿児島おはら祭り	東京渋谷道玄坂 13時～総踊り (渋谷・鹿児島おはら祭り運営委員会 03-3373-7381)
6月7日(日)	せつぺとべ	日吉町の八幡神社・吉利鬼丸神社(日吉支所 099-292-2111)
6月7日(日)	新田神社お田植え祭り	『宮内奴振踊り』の奉納(薩摩川内市新田神社 0996-22-4722)
6月14日(日)	鹿児島高等学校関西地区同窓会	大阪キャッスルホテル 錦城閣(06-6941-2185)
6月21日(日)	御田植祭 鹿児島神宮	(鹿児島神宮 0995-42-0020)
6月21日(日)	くも合戦	加治木町福祉センター(加治木総合支所地域振興課 0995-62-2111)
7月25日(土)	曾我どんの傘焼き	祇園の洲の石橋公園で開催の予定 (099-295-4189 西郷銅像展望ホール K-10 Caffé)
7月25日(土)	鹿児島高等学校同窓会	鹿児島サンロイヤルホテル(099-253-2020)
8月9日(日)	市来の七夕踊(重要無形民俗文化財)	いちき串木野市大里地区(いちき串木野市文化振興課 0996-21-5113)
8月16日(日)	川内川花火大会	川内川 開戸橋下流左岸(0996-22-2267 川内商工会議所業務課)
8月22日(土)	かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会	鹿児島港本港区(鹿児島市観光振興課 099-216-1327)
8月29日(土)	鹿児島高等学校北海道地区同窓会	(山下会長様 011-752-7350) 場所未定
9月20日(日)	金吾様踊り島津歳久公を祭る	さつま町中津川の太石神社(中津川交流館 099-653-1111)
9月21日(月)	川内大綱引	国道3号線、大小路町(川内大綱引保存会 0996-21-1851)
9月23日(水)	セゴドンのエンコ(遠足)	(南洲神社 099-247-6076)
10月3日(土)～13日(火)	かごしま国体	メイン会場は県立鴨池競技場(障害者スポーツ大会はその後開催)
10月25日(日)	鹿児島高等学校関東同窓会	喜山倶楽部 03-3262-7661(東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館)
10月17日(土)・18日(日)	ほぜどん	南さつま市坊津 八坂神社(南さつま市役所 0993-53-2111)
10月25日(日)	薩摩義士顕彰秋季祭	岐阜県海津市 治水神社 0584-54-5928 * 県人会で募集・大阪からバス
10月24日(土)・25日(日)	妙円寺詣り	伊集院駅から徒歩5分(日置市商工観光課 099-273-2111)
10月25日(日)	小京都ふるさと祭り	知覧平和公園(南九州市商工観光課 0993-83-2511)
10月31日(土)～11月3日(火)	美山窯元まつり	東市来町美山一帯(日置市東市来支所 099-274-2111)
11月2日(月)・3日(火)	おはら祭り	市内高見馬～市役所一帯(鹿児島市観光振興課内 099-216-1327)
11月3日(火)	弥五郎どんまつり	曾於市大隅町(市役所経済課 0986-76-8808)
11月23日(月)	関西かごしま焼酎祭り	尼崎中小企業センター1F(鹿・県人会総連合会 075-213-2663)
11月23日(月)～	曾木の滝公園もみじ祭り	曾木の滝公園(大口市地域振興課 0995-22-1111)
12月11日(金)～13日(日)	龍門司焼陶器祭	龍門司焼窯元 加治木小山田(龍門司焼企業組合 0995-62-2549)

- 鹿児島高等学校関西地区同窓会
 <<事務局>> 飯田一憲
 TEL/FAX:0797-81-6527
 携帯電話:090-3994-7570
 e-mail:kawamono_iida@kagoshima.zaq.jp
- 鹿児島高等学校関東同窓会
 <<事務局>>
 事務局長 藤本宗功
 TEL/FAX:04-7139-1112
 e-mail:fum-munekatsu@jcom.home.ne.jp
- 鹿児島高等学校同窓会本部
 <<事務局>>
 〒890-0042 鹿児島市薬師1-21-9
 担当:神園隆志
 電話:099-255-3211
 FAX:099-258-0080
- 鹿児島高等学校北海道同窓会
 <<事務局>>山下清行
 電話/Fax:011-752-7350

編集後記

第二十一号関西地区同窓会新聞をお届けいたします。

頂いた原稿を編集しておりますと、一言一言の中に執筆者の思いの深さが滲んでいること痛感させられます。

この号への協賛広告を頂きましたこと感謝申し上げます。皆様のご協力有って同窓会の運営が成り立ち賑やかになっています。有難うございます。

関西から発信されるこの新聞は関西の同窓会、鹿児島の本部同窓会、関東同窓会、北海道同窓会の参加者に配布されております。また、関西にある県人会、県高校同窓会の方々への配布に心掛けており、広告や鹿児島の行事などに目を通して頂ければと願っております。

・「鹿児島」に関する情報をメール発信していただきます。アドレス未登録の方変更される方連絡ください。お住いを変えられる方も連絡ください。

・母校の生徒などが出演する番組や鹿児島に関するテレビでの放映情報を得られた方は、事務局に連絡頂ければ助かります。

(新聞編集グループ)

《お願い》
 関西地区で、クラス会あるいは卒年同窓会を開催される時は事務局(飯田)に連絡下さい。取材にお伺いします。

鹿児島高等学校のホームページから、「NEWS 一覧を見る」(ページ右上の緑の吹き出し)をクリックして、「ニュース&トピックス」のページへ。ニュース欄上部の「記事の絞り込み」から「卒業生(同窓会)の皆様へ」を選択してください。同窓会関連のニュースがご覧になれます。 ⇨ 鹿児島高校ホームページ <http://www.kagoshima-h.ed.jp/>